

即効投資戦略 2018年08月22日（水）

下がったら弱気というのが日本人の特徴ですが、今やられてる商いは国際間のペイトレード。上がるとしたら米国から、下がるとしたら米国がおかしいと一番被害が大きい日本と思いつまされているから、米国買いの日本株売り。そう思うと辻褃が合う事が大きく、日本株が一番トルコに関係ないのに、世界でも一番株が下がったのとかよくわかります。

特に、昨日なんか怖かったのは、為替が要の日本において円高になって来てたし、そりゃ9月の日米交渉前に「各国は通貨安ですが、日本は高いです」なんて言える口実かどうかは知らないが、企業にとっては攻め入戦になっています。

じゃ、売られるとして本当に経済が崩壊かという「現時点」ではGDPの中身から、崩壊はしていない、むしろ拡大局面だという感覚が見えるのでして、そうした動き方は市場内の問題は解決したら必ず評価始まるのであり、そこが片付くまたは悪くなるという日は本当に近いでしょう。

一つは需給でSQが大きなポイントになっており、買いポジションが多い先物を売りポジションの多い現物との兼ね合いがあるし、そこがクリアされたら少なくとも需給は国内勢の9月中間決算の需給になります。問題は安倍さんとトランプさんの会談で、自動車税については殆どトランプさんの胸先三寸で決まる部分になったし、そこが読めないんです。

だとしたら、この場面は通常は仕手株しかないんですがね。バイオとか。

4764SAMURAIは昨日後場に下に塊の買いを入れて来ました。皆が売る時にはスルーしながらも、指数が止まったらすかさず買いを入れて来ます。こうした買い方は自然じゃないのでして、高値から相当落ちましたが、ルーデンが上がるように、中味ある企業ならば、最低リバウンドとリハ出来るだろうと。

6972エルナーは先の決算で大幅な赤字の見方。ですが、数字は予定よりいいですし、この赤字は独禁法の流れで来たもの。債務超過を太陽誘電がカバーして、中味が変わって新しい見方が出来る企業へ。まだまだ、中途半端な動きですが人気あるだけに注意が必要。

2678アスクルはモルガンが嫌ったレポートで下落しましたが、そういうタイプが今は上がるのに同社は、ここに来て尚もの押し。ただ、上がる株式だって苦しい時期過ぎての物であり、こうした改革のいる物流は今は資金が必要なのは仕方がないです。会議で底付ける典型だと自分は見えていますし、外資のレポートはこの時期は当てにしません。

4215タキロンシーアイは昨日反落ですが、それは仕方がなく全体が上がったのではなく下げ止まってくれたという程度ですからそれは仕方がないでしょう。ただ、この市場は中味が良いからこうした内容のいい企業が底値になると仕込む人は多く、特益が消えても高水準維持している同社は狙い目と見ます。